

特集

女性の元気で、岩手を盛りあげたい!

「10人の女性講師 夢プロジェクト」

県内で活動する女性講師10人。それぞれ多分野に渡って研修講師を務めるスペシャリストです。彼女たちは2016年9月に立ちあがった「10人の女性講師夢プロジェクト」のメンバー。そこに共通するのは、地元企業や地域を元気にしたいという思いでした。

企業の声を聞き 生まれたプロジェクト

「10人の女性講師夢プロジェクト」の代表を務める中村夢美子さんは、株式会社 aiびねすの代表取締役として、企業の階層別研修や接客マナー研修などを行っています。平成17年の開業以来、登壇実績は900回以上。県内のさまざまな企業を



代表の中村夢美子さん（株式会社aiびねす）。若手社員・中堅社員などの階層別研修、接客マナーなどのテーマ別研修、講演等を行っています。

10人がつながるメリット

訪れるなか、クライアントの研修担当から「違うテーマでも研修をやってみたいが、誰か講師を知らないか」という声を聞くようになりました。そんな時は自身がいろんな場面で知り合った講師を企業に紹介することもありました。一方で、首都圏に著名な講師を依頼しても企業規模や地域性の違いからさほど成果があがっていないケースがあると聞く機会も……。何か良い方法はないかと思いついたのが、「10人の女性講師夢プロジェクト」でした。企業・組織の人材育成に関わる課題を、指導実績豊かな女性講師10人の知見を生かし連携して解決していくこと。それがプロジェクトの活動主旨です。まさに、企業のニーズを細やかに拾い上げた結果として生まれたスタイルといえます。

「早速、チームをつくろうと声を掛けたら、現メンバーの皆さんから快い返事してもらいました。何度もミー

ティングを重ね、お互いを理解したうえで、9月に発会式を行いました。普段はそれぞれのフィールドで事業主として活動しているため、ゆるやかな連携といえるでしょう」。

声をかけたメンバーは、中村さんが仕事を通じて、あるいは自身が受けた研修の講師として知っていた女性たち。では、声をかけられた側は中村さんの思いをどう受けとったのでしょうか。

「いつもは個人で活動していますが、それが一つになって動くことで大きなパワーを生み出すのではと、面白そうに感じました」（藤原麻路さん）

「違う分野で活動する10人が集まると100倍のパワーになるんじゃないかと思って」（藤村七美さん）

「声をあげた中村さんの勇氣に応えたいという気持ちでした」（澤瀬典子さん）

と、プロジェクト発足へ向けた思いを振り返ります。中でも、長岡るみ子さんは岩手の女性に対してある印象を受けていたといいます。

「長年暮らした青森県は、女性経営者の華々しい活躍を目にする機会が多かったのですが、故郷の岩手では女性の活躍があまり前面に出てこない印象がありました。とはいえ、さまざまな活動を行っている女性はいます。その方々をさらに応援し、つながることで生まれる展開に興味を持ちました」。

引出しの多さがチームのウリ!

9月に始動したプロジェクト初の仕事は、釜石のNPO法人「母と子の虹の架け橋」からの依頼でした。10月から12月まで3カ月間、女性向けに10本の講座や研修会を設け、各メンバーが講師を担当。「整理収納環境づくり」「親子でつくるおいしいごはん」「嫌いな人がいなくなる!?最高のコミュニケーション」「仕事の経験から掘り起こす自分だけの自己PRポイント」等々、女性チームならではの幅広いテーマを提供しました。

釜石の場合は一般参加者向けに女性に役立つテーマで組み立てましたが、企業内の階層別研修や課題解決研修など、依頼先のニーズに合わせて自在に講師をセッティング可能。「課題はあっても何をしたらいいか……」と悩む企業に対しては、まずヒアリング段階から関わっていくそうです。新しいテーマも多く取り入れており、中でも「あがり症克服法」



は県内唯一の講座。受験や採用試験にも役立つと人気です。

「窓口を1本化することは研修担当者自身の作業効率化にもつながります。外部の人間が指摘することで課題を取り上げやすくなり、角が立たないというメリットもあります」と中村さん。

「一緒に学びましょう!」と傍らに寄り添う印象がある女性講師ならではのソフトさは企業からも評判が良いようですが、研修は厳しいですよと笑顔でピシヤリ。

「企業は人なりといいながらも、雇用は景気の波を受けやすい側面があります。今後は人材育成の重要な部分に、地元で活動し地元を知る私たちが関わることの強みをお伝えしていきたい」。

企業向け研修では長期ビジョンを踏まえて、ストーリーを描きながら人材育成に関わる機会を増やしていきたい、また、人と地域がさらに元気になる為にも10人で関わっていききたいと中村さんは話します。

同プロジェクトが昨年10月から11回開いてきた一般向け講座「学びすとクラブ」は2月が最終回。ハラズメントの予防や法律実務など、企業の今を捉えたテーマで開催予定です。「10人の女性講師プロジェクト」の講師陣とテーマ、講座はどんな風に進むのか?それを知るきっかけとして参加してみたいかがですか。(詳細はP17参照)


講師の皆さんから一言!

まだ岩手では新しいですが、国の防災白書にも掲げる「レジリエンス(逆境からの回復力、折れない心)」を研修テーマとして取り上げていきたいです。



●藤村七美さん
(CO.CORO サポート)
カウンセリングマインドの研修・人材育成ほか

観光という視点から捉えた「おもてなしやマナー」、一方でシニア世代と共に「終活」に対する問題を取り上げるセミナーなどを行ってまいります。



●長岡のみ子さん
(キャリアール)
心を伝える笑顔の接客・接遇マナー
シニア世代を生きるヒント

食はどの世代にとっても一番大事ながら、ついおろそかになりがち。忙しい生活で「転ばぬ先の知恵」となる食のポイントを教えます!



●佐藤ユウさん
(メディカルクッキング)
楽しい、元気になるクッキング教室
食生活の情報提供研修会を開催

就労相談やフィナンシャルプランニング、介護予防まで、皆さんがどうなりたいか明確にできる「動機づけ」となるセミナーを提供していきます!



●大久保名美さん
(トータルライフ・ラボラトリー)
キャリアとマナーのプランニング
セミナー、キャリアデザイン研修、
認知症予防講座

社内外の法的紛争を防ぎ、被害を最小限に抑えるべく、一期一会の想いで真摯に向き合い、法的紛争を解決します。



※業務上の都合により顔写真の掲載は控えさせていただきます。
●東海林智恵さん
(東海林法律事務所)
弁護士(民事、家事、企業法務等)

あがり症によって、本来の才能を発揮できずにいる方、ぜひ目標に向かうための通過点として活用ください! 新入社員だけでなく管理職の皆さんにも。



●佐々木ひとみさん
(オフィスラポール)
脳のしくみ+身体のしくみ+話し方のスキル=緊張あがりを解決

コーチングはゴール(目的)に向かうマインドづくりを軸にし、セルフコーチングを通して具体的な成果と結果を創る人材を生みだします。



●藤原麻路さん
(Office-asaji)
セルフコーチング手法・自発性と自立性を引き出す・自ら考える人
材づくり

過重労働やハラスメントの問題はもっと知ってほしいテーマ。多様な働き方を模索する企業の皆さんにヒントとなる情報を提供していきたいです。



●澤瀬典子さん
(オフィスサポートSAWASE)
社会保険労務士(現場に生かせる労働法、知って得する年金、ハラスメント防止ほか)

社内における「探し物にかかる時間」削減によって生産性も向上し残業時間削減へ。ワークライフバランスを整え、職場を環境整備するお手伝いいたします!



●金田玲子さん
(style-R)
家庭・オフィス・店舗等の整理収納に関するコンサルティング